

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">~2022</div> <h1 style="margin: 0;">災害福祉論</h1>	単位数	履修方法(授業形態)	配当学年
	4単位	R	1・2年
	担当教員	都築 光一	

## ■授業のテーマ

災害と福祉支援

## ■授業の目的

災害時における福祉支援のあり方の理解を深める。

## ■授業の到達目標

1. 災害時における福祉支援を必要とする人々に対する支援を説明でき、災害を克服する考え方を説明できる。
2. 災害時において社会福祉の立場からのアプローチのあり方に関して、地域福祉論やソーシャルワークなどの論点から説明できる。

## ■授業の概要

本講義においては、災害時における支援のあり方に関し、社会福祉の観点から理解する。

1. 平時に突然発生する災害に際して、社会福祉の立場から、「災害」に関する理解をすすめ、災害時に対象とすべきニーズの概要と被災者に関して理解する。またこの際には、被災の程度や被災者を取り巻く被災地域の社会の状況に関する観察のあり方を学ぶ。
2. 災害対策基本法をはじめ、現在の災害に関する様々な制度と、その仕組みに関し学ぶ。
3. 被災の状況に関する理解をもとに、福祉支援の基本的な理解を深め、具体的に展開されるボランティアや災害派遣福祉チーム、施設間相互協力協定での取り組みなどのほか、インフォーマルな支援などを通じて、多様な形態をとる福祉支援について、歴史的取り組みを通じて学ぶ。
4. 近年の災害時における社会福祉の立場からの取り組み状況に関して理解する。

## ■研究の視点

平時における福祉サービスの利用者や対象者のほかに、災害時には大量に福祉的支援を必要とする住民が発生する。こうした人たちは、弱い立場に立たされていく場合が多く、社会福祉はいかにしてそうした状況の解消を目指すのかについて、実践的に考えを組み立てる。

## ■在宅学修15のポイント

	学修のテーマ	学修内容(・キーワード)	学びのポイント
1	福祉における災害とは何か	様々な災害の定義を概観する	制度による規定、制度外の災害とは何か
2	災害時における福祉の対象とは何か	社会福祉から見た災害時の対象	社会から見た対象と住民から見た対象
3	災害時における福祉ニーズ	災害時ならではのニーズの特徴と理解	災害時だからこそ発生するニーズに関して理解する
4	福祉ニーズの把握方法	多様なニーズの把握方法	福祉対象者の複合的に抱える様々なニーズを理解する
5	災害時の福祉的取り組み(戦前)	明治期から昭和三陸大津波までの歴史	明治期からの災害と福祉対象者の状況を理解する

	学修のテーマ	学修内容(・キーワード)	学びのポイント
6	災害時の福祉的取り組み(戦後)	戦後から阪神淡路大震災まで	戦後のチリ地震津波や地震等での福祉支援活動
7	災害時の福祉的取り組み(最近の取り組み)	東日本大震災・熊本地震・関東東北豪雨	東日本大震災における福祉支援活動について理解する
8	災害と福祉行政	災害救助等の諸制度と行政の役割	福祉行政の役割について制度から理解する
9	災害と社会福祉協議会	災害時における社会福祉協議会の取り組み	東日本大震災時の社会福祉協議会の役割を理解する
10	災害と社会福祉法人	社会福祉法人の災害への取り組み	福祉避難所等社会福祉法人の役割を理解する
11	災害と福祉専門職	福祉専門職による災害への取り組み	福祉専門職の様々な取り組みについて理解する
12	災害ボランティア	災害ボランティアセンターの取り組み	災害ボランティアセンターの取り組みの実際について理解する
13	災害派遣福祉チームの設立	災害派遣福祉チームの役割と実践	災害派遣福祉チームの設立の経緯と取り組み
14	福祉施設間協力協定	各種別協議会による協力協定について	災害時の福祉施設間の協力協定の目的と実際
15	まとめ	講義全体のまとめと発表	災害時福祉支援のあり方に関し、個々人の意見を発表

## ■レポート課題

課題 1	災害時における福祉ニーズについて、東日本大震災を例に説明しなさい。
課題 2	今日の災害時における福祉支援活動に関し、広域福祉支援ネットワークを中心に、必要性和あり方に関し論じなさい。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

## ■アドバイス



災害時のニーズについては、被災者の構成によって歴史的に大きく変わってきています。その状況と支援のあり方について調べましょう。



阪神淡路大震災以降、災害時の福祉支援のあり方が変わってきています。広域福祉支援ネットワーク協議会の設立の背景と、その機能を確認しましょう。

## ■評価の方法・基準

課題レポート50%、試験50%とする。

## ■参考文献 (\*印=大学から送付される必読図書)

\*都築光一編 (2015) 『明日への胎動』 東北福祉大学地域福祉研究センター